

以下の経営学分野・会計学分野の問題 1～6 のうち、2 つを選択して日本語で解答しなさい。
答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

問題 1 アントレプレナーシップとイノベーションの関係について論じなさい。

問題 2 コア・コンピタンスについて説明した上で、その意義と課題を具体的事例に即し論じなさい。

問題 3 日本の株式会社の組織はどのように構成されているか論じなさい。

問題 4 有価証券の区分の期末評価について、企業会計基準第 10 号「金融商品に関する会計基準」に基づいて説明しなさい。

問題 5 利益を減少させる決算政策を行うインセンティブをもつ企業の特徴を説明しなさい。

問題 6 製造業を営む企業を考える。製品を製造するために固定費が 20,000 円、製品 1 つあたりの変動費が 100 円である。製品の販売価格は 300 円である。このとき以下の問いに答えなさい（計算過程も書くこと）。

- (1) 製造業における固定費の例と変動費の例を 1 つずつ示せ。
- (2) 損益分岐点の売上数量を求めなさい。
- (3) 目標利益 1 万円を達成するために必要な売上数量を求めなさい。
- (4) 今、固定費を 15,000 円に引き下げるか、変動費を 50 円に引き下げるか、どちらかの費用削減が可能である。利益獲得にとってどちらが有利か、理由とともに答えよ。